

授業科目名	社会学	担当教員	宮台 真司
必修の区分	必修		
単位数	1単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1・2年第2クォーター		
講義内容	<p>本講座では、社会学とは何かについて多面的な考察を行う。社会は、われわれが日常接する集団や組織、あるいはもっと小さな人間関係などからも形成されている。社会学とは、こういった組織や集団を研究対象とし、その仕組みやはたらき（システム）を理解する学問である。本講座では前半でシステム理論の基礎概念を学ぶ。後半では、それらを踏まえて、「近代社会の全体性の把握」をテーマに、より広範な社会的なものを見方を学ぶ。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「社会」とはなにか、「社会学」とはどのような学問かを理解する。</li> <li>2. 社会システム理論の基礎的な概念を学び、社会をシステムの側から読み解く視点を得る。</li> <li>3. 「近代社会の全体性の把握」、すなわち部分の総和として全体を考えるのではなく、社会を一つの有機体としてとらえる視点を身に着ける。</li> <li>4. 宗教、政治、法など、社会を構成し制御する様々なシステムについての基本的な概念を身につける。</li> </ol>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会とは何か(反啓蒙の思考伝統)</li> <li>2 一般性とは何か(文脈自由としての近代)</li> <li>3 システムとは何か(均衡システムと定常システム)／秩序とは何か(統計熱力学の思考)</li> <li>4 意味システムとは何か(意味の4機能)</li> <li>5 社会システムとは何か(生物有機体システムとの違い)</li> <li>6 制度とは何か(予期ならびに二重の偶発性)</li> <li>7 社会統合とは何か(合意モデルと信頼モデル)</li> <li>8 パーソンシステムとは何か(意識と心理)</li> <li>9 宗教システムとは何か(前提を欠いた偶発性の馴致による「不条理処理」)</li> <li>10 法システムとは何か(公認された手打ちによる「紛争処理」)</li> <li>11 政治システムとは何か(奪人称化メカニズムを介した「集会的決定」)</li> <li>12 性愛システムとは何か(ロマン主義の歴史を介した「偶然の必然化」)／全体のまとめ</li> </ol>		
事前・事後学習	<p>ウェブサイト「ミヤダイドットコム」(<a href="http://www.miyadai.com/">http://www.miyadai.com/</a>)の「連載・社会学入門」(<a href="http://www.miyadai.com/?blogid=1&amp;catid=7/">http://www.miyadai.com/?blogid=1&amp;catid=7/</a>)を事前・事後に読む。</p>		
テキスト	<p>ウェブサイト「ミヤダイドットコム」の「連載・社会学入門」(上記リンク)</p>		
参考文献	<p>宮台真司の以下の著作。『14歳からの社会学』『私たちはどこから来てどこへ行くのか』『正義から享楽へ』『絶望・断念・福音・映画』『世界はそもそもデタラメである』</p>		
成績評価の基準	<p>全授業の終了後に提出するレポートで評価する。80点の基準点から、一般性のなさ・具体性のなさ・難易度の低さを減点要因とし、授業忠実性の高さ・独創性の高さを加点要因として採点する。レポートの課題は最終回に提示する。</p>		
履修上の注意 履修要件			
実践的教育	<p>該当しない。</p>		
備考欄	<p>履修者が定員を超過した場合、抽選を行う。</p>		